

2005年3月期 中間決算説明会

2004年11月11日

取締役社長 関 誠夫



千代田化工建設株式会社

目次

1. 2005年3月期中間期決算の現況
2. 今期の経営重点目標テーマ
3. 当社を取り巻く経営環境 / マーケット環境
4. まとめ

2005年3月期中間決算の現況

- 新再建計画の重要なマイルストーンである累積損失解消については、計画を1年前倒しで達成。
- 対前年中間期と比べて、大幅な増益となり、期首計画を上振れする売上高、利益となった。
- 過去の弱い体質から、リスク管理をきちんと実施できる収益体質に変革し、増益となった。
- 次のステップとして、収益成長企業を目指した経営方針の舵取りを行っていきたい。

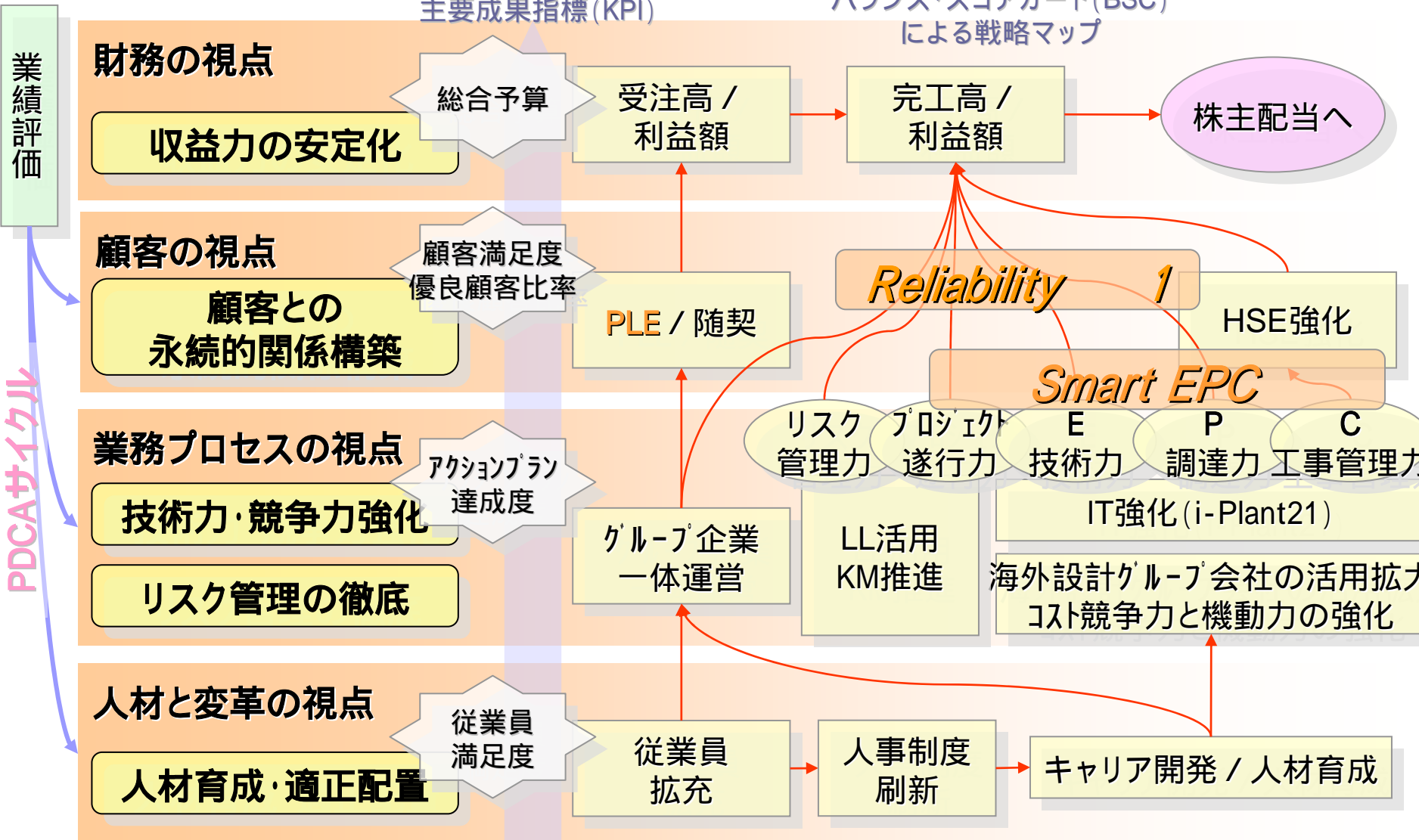
2

今期の経営重点目標テーマ

- 経営計画と設定目標の確実な実現に向け経営管理能力を更に強化：
経営戦略マップを参照(次ページ)
- リスク管理の更なる徹底により、プロジェクト遂行の不確実性を排除し、収益を安定化する。
- Reliability No.1 プロジェクトカンパニーを目指す。

Reliability 1 Excellent Project Company

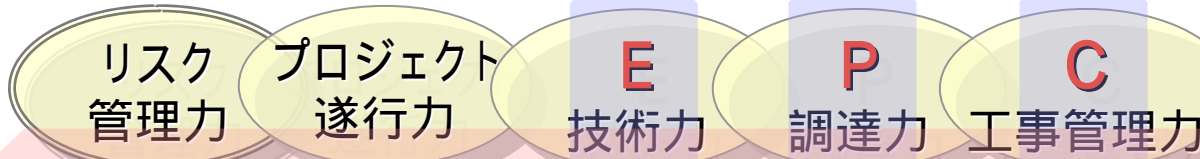
経営戦略マップ



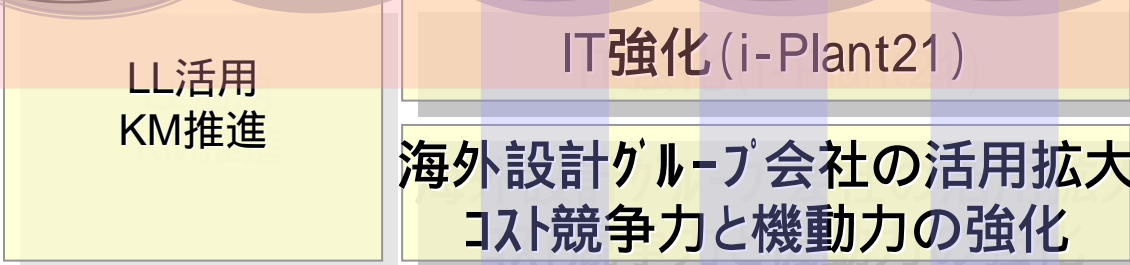
PLE: Plant Lifecycle Engineering、 PDCA: Plan・Do・Check・Action、 HSE: Health, Safety & Environment



EPCのReliability 向上

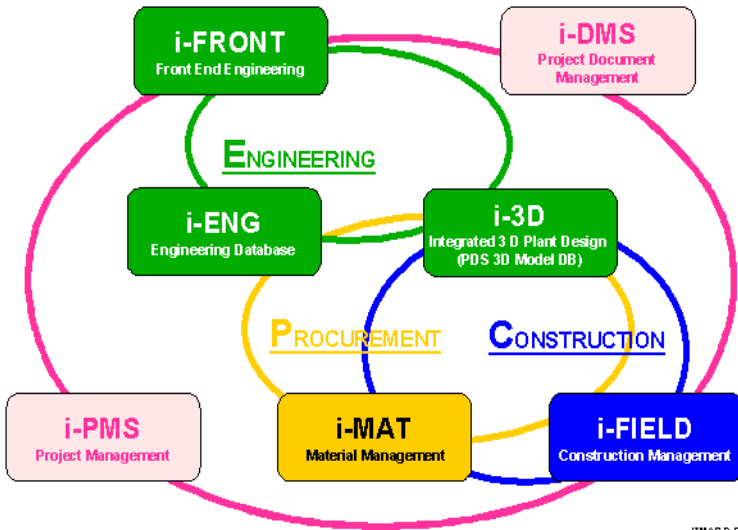


Smart EPC



Chiyoda's Integrated Project Engineering Systems

i-PLANT21® intelligent & integrated



LL: Lesson and Learnt, KM: Knowledge Management

ITMAP-D-R1 09/7/20

3

当社を取り巻く主たる経営環境

マーケット

社会・環境

LNG市場の
拡大

ガス開発市場の
拡大

(アップストリーム、ガス化学他)

地球環境・CO₂削減
(京都議定書)

プラント大型化

情報産業の
発展
(IT、情報家電等)

中国の経済成長
(資材価格高騰への対応等)


原油価格の
高止まり






企業の社会的責任
(CSR)への関心の
高まり

省エネルギー・
新エネルギー
(GTL・DME)

経済

エネルギー

 **CHIYODA** グループ

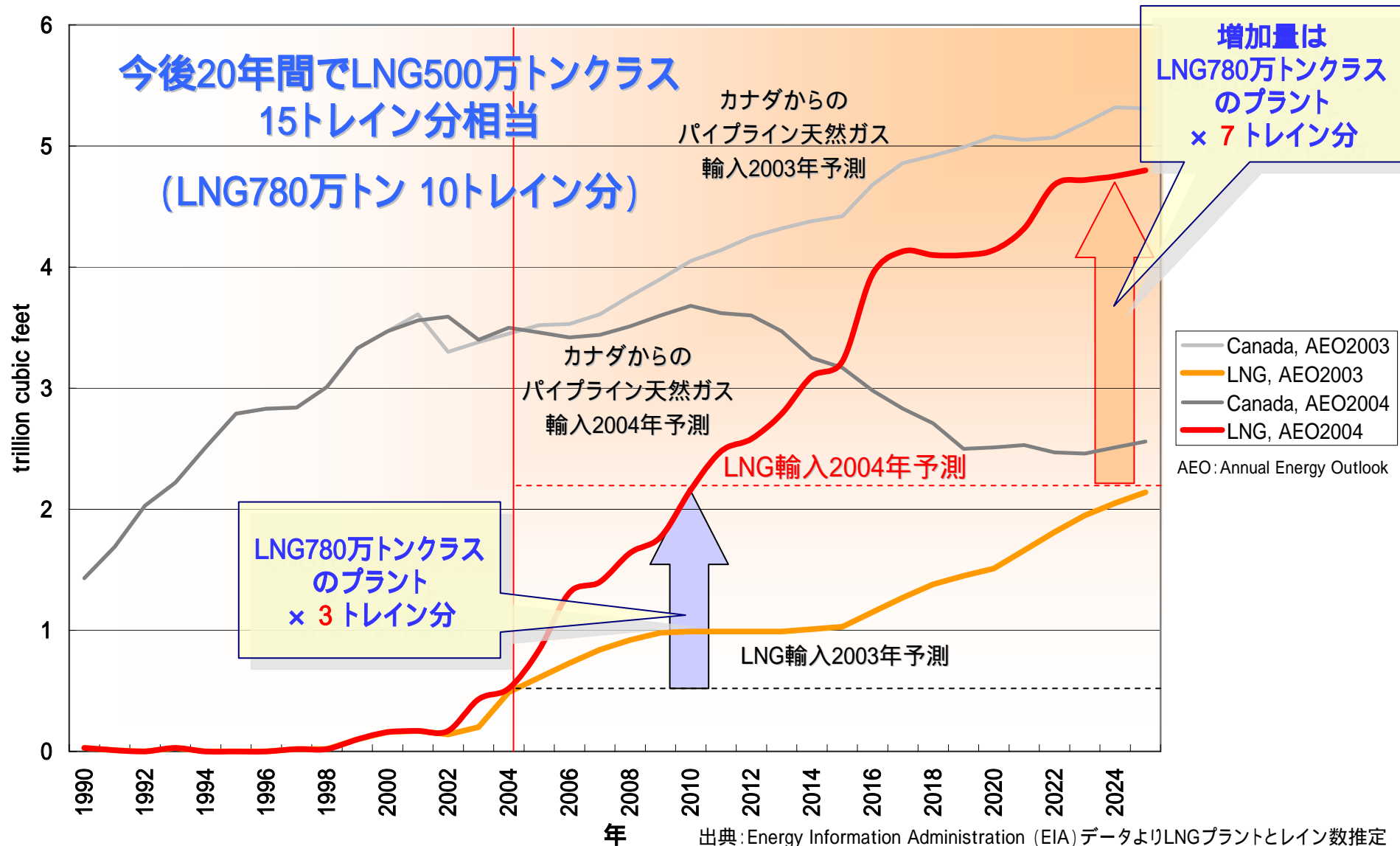
 千代田化工建設	 千代田アドバンスト・ソリューションズ
 千代田工商	 千代田計装
 千代田テクノエース	グループ会社 (サテライト・エンジ・センター含む)

3

マーケット環境

- 京都議定書の発効：国内省エネの促進、CO₂削減のため天然ガスシフトの加速。
- 原油高：メジャー、国内石油会社好決算、各国LNGの輸入計画を上方修正。
- 米国LNG輸入：現在1050万トン(0.5Tcf/年)より2025年迄に9600万トン(4.8Tcf/年)へ大幅増加。(米EIA長期見通し)
- 中国LNG輸入：2010年迄に2500万トン輸入する計画より3350万トンに増加。




米国:カナダ産パイプライン天然ガスよりLNGへシフト



カタール:大型投資が目白押し

印は当社受注実績案件

QATARGAS

Train 1 EPC (1997)
Train 2 EPC (1997)
Train 3 EPC (1998)
Train 1/2/3 Debottlenecking (2005)

LNG 920万トン(稼働)

QATARGAS II




Train 1 (2007) FEED実施
Train 2 (2009)

LNG 1,560万トン(計画)

QATARGAS 3





Train 1 (2009)

LNG 780万トン(計画)

QATARGAS

LNG 500万トン(F/S)





Qatar Petroleum 

共用冷却水供給プロジェクト EP (2004)

共用冷却水供給(拡張)

RasGas


Train 1 FEED
Train 2 FEED } 660(稼働)
Train 3 EPC (2003) 470(稼働)
Train 4 EPC (2005) 470(建設中)
Train 5 EPC (2007) 480(建設中)
Train 6/7 (2008) 780 × 2(計画)

LNG 3,640万トン

ExxonMobil

湾岸ガス開発プロジェクト EPC (2006)

GTLプラント









独立系水道・発電事業
 ガス化学プラント(エチレン...)
 パイプラインによる輸出事業

4

まとめ

- 新再建計画の完了の目処がたち、これからの中期経営計画を策定中。
- 新中期経営計画は、収益力の強化を継続し、新たな施策で更なる収益成長企業に変えていく。
- 世界で最も信頼性の高いプロジェクトカンパニーポジションを確立・発展し、いつの時代でも、どんな分野でもプロジェクトで貢献できるシステムと遂行力を備えた上で、企業の社会的責任(CSR)をしっかりと果たせるエクセレントカンパニーを目指す。

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

広報室長兼IRマネジャー 村田 卓弘

IR Manager Takuhiro Murata

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

携帯 090-3348-3484

e-Mail [tamurata@ykh.chiyoda.co.jp](mailto:tamura@ykh.chiyoda.co.jp)

URL <http://www.chiyoda-corp.com/>

この資料には、2004年11月11日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。